

一 般 質 問

発言者 崎 山 美 幸

発 言 の 要 旨 (その1)
1 広報とシティープロモーションについて
(1) 今後のInstagram戦略
(2) 公式LINEの登録者数増加に向け、具体的な目標やロードマップを設定し、登録促進に取り組む考え
(3) 緊急時の情報について、即時性を高め発信していく考え
(4) 若者視点を取り入れ、高松版図柄ナンバープレートを刷新し、シティープロモーションへ活用する考え
2 行政DXについて
(1) 郵送による各種通知について、デジタルで受け取ることができる仕組みを導入していく考え
(2) 窓口DXの成果や課題を踏まえ、さらなる行政DXに取り組む考え
3 公共交通について
(1) 多肥駅を交通結節点として、ループバスで周辺地域とつなぐという考え方を、既存の主要駅にも展開し、交通空白地域の解消につなげていく考え
(2) 水田駅を交通結節点として、東南部地域を循環するループバスについて、地域の移動課題を解決する一つのモデルとして、実証運行を検討する考え
4 さぬき高松まつりについて
(1) 一体感のある運営体制について、今後どのように取り組んでいくのか。
(2) さぬき高松まつりにおいて、ごみの減量や分別をさらに進める考え
(3) ごみの減量・分別など市民参加型の取組を、今後のさぬき高松まつりの新たな魅力としてどのように発展させ、観光振興やシビックプライドの醸成につなげていくのか。
5 若い世代の健康について

発 言 の 要 旨 (その2)

プレコンセプションケアの位置づけと、関連する取組を若い世代に分かりやすく見える化していく考え

6 高齢者福祉について

(1) 孤立死対策を、今後どのように進めていくのか。

(2) 地域カルテの利用促進を図り、地域づくりを推進していく考え